

No. 12-10

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 12 - 10

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与 1		作成日		28年 5月 23日		
事務事業名		喜び農業推進事業事務				シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	5 賑わうまち				課名	産業課		係名	産業振興係
		5-1 働きがいのあるまちをつくる				シート作成者				
	施策	5-1-1 農業の振興				予算費目	会計		一般	
							款		6	
主要施策	③ 地域特産物の開発				項		1			
					目		3			
個別計画名										
住民との関わり		住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）			目的（どういう状態にしたいのか）						
	農業者			農業の活性化に向けて、新たな地域の魅力づくりとして実証圃場において果樹栽培を行い、水稲との連携による持続可能な農業形態の確立を図ります。						
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		付加価値のある作物を栽培することにより、地域農業の活性化及び農業所得の向上を図るとともに、生産者にとって喜びのある農業を目指します。								
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 25年度 ~ 平成 年度（年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし								
根拠法令・要綱等										
		平成26年度（決算）		平成27年度（決算）		平成28年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		9,558		10,125		6,359				
財源内訳	国庫支出金		0		4,185		419			
	県支出金		0		0		0			
	地方債		0		0		0			
	その他特定財源		0		0		0			
	一般財源		3,948		0		0			
直接事業費（千円）A		3,948		4,185		419				
人件費（千円）B		5,610		5,940		5,940				
内訳	一般職員（人・千円）		0.85 人 5,610		0.90 人 5,940		0.90 人		5,940	
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人		0	
成果指標	成果指標名			単位		27年度		28年度		29年度
						目標		実績		（目標）
	① 事業実施面積			㎡		1,000		1,000		1,000
	②									
③										
説明		実施面積を指標としています。 現在、ぶどう栽培500㎡・ブルーベリー栽培500㎡、計1,000㎡を実証圃場として検証しています。								

事業名		喜び農業推進事業事務			シート作成課		産業課	
一次評価者		産業課長			二次評価者		建設部長	
評価項目の説明	チェック項目				一次	二次	一次の評価又は説明	
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	新たな町の魅力づくりと持続可能な農業形態の確立を図ります。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	付加価値のある農業を推進することにより、地域農業の活性化及び農業所得の向上に繋がります。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	実証圃場による成果をもって達成度を図ります。	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	将来的には生産・販売のみならず、観光農園・六次産業化を目指します。	
本事務事業の実施適切性の説明								
本事業は、真に自立した農業経営や農業の活性化を図ることを目的とし、農業を収益産業として位置付け、生産・販売のみならず、将来的には観光農園・六次産業化を目指し、本町のブランド作物として売り出していけるように取り組みます。								
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	(8) B	(8) A	(7) (6) D
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大		
今後の改革・改善目標	実証圃場での検証を踏まえ評価します。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	(8) B	(8) A	(7) (6) D
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大		
コメント	実証圃場での検証を踏まえ評価します。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針		いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する			